

(公印省略)
医第2536号
令和2年1月22日

一般社団法人兵庫県助産師会長様

兵庫県健康福祉部健康局医務課長

周産期医療における働き方改革とタスクシェアリングの開催について（ご案内）
(令和元年度兵庫県助産師活用推進事業報告会)

平素は本県の看護行政の推進にご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本県では、分娩施設が減少するなか、妊産婦の多様なニーズに応え、地域における安全、安心、快適なお産の場を確保するために、助産師がその職能を活かして活躍することができるよう、助産師の資質向上に関する施策を実施しております。

このたび、当該事業の成果を踏まえ、医師と助産師とのチーム医療を推進するため、下記のとおり報告会を開催することとなりました。

つきましては、ご多用のこととは存じますが、貴会員様へ周知いただくとともに、参加についてご配慮いただきますようよろしくお願ひ申し上げます。

記

1 日 時 令和2年2月29日（土） 13:30～16:30

2 場 所 公益社団法人兵庫県看護協会2階ハーモニーホール
神戸市中央区下山手通5-6-24 (TEL: 078-341-0190)

3 内 容

I 基調講演（13:35～14:35）

「働き方改革によるチーム医療の推進－医師と助産師の協働－」

講師：日本医科大学多摩永山病院 院長 中井 章人

II パネルディスカッション（14:45～16:30）

※詳細は兵庫県ホームページ「助産師活用推進事業について」参照
<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kf15/jyosanshisyukou.html>

4 対 象 病院・診療所の医師、助産師、看護部長等管理者、事務職員、
看護教育関係者、行政関係者等

5 申込み 別添チラシ裏面の「参加申し込み書」にご記入のうえ、FAXにてお申し込みください。
(締切り：2月14日（金） FAX: 078-362-4267)

6 その他 日医生涯教育講座認定単位申請済（CC: 10 1単位）

【問い合わせ】

兵庫県健康福祉部健康局医務課

医療人材確保班 村上・井上

TEL: 078-341-7711 (内線 3254)

周産期医療における働き方改革とタスクシェアリングを考える －令和元年度兵庫県助産師活用推進事業報告会－ 実施要領

1 目的

産科医不足により分娩施設が減少する中、地域において安全・安心・快適なお産の場を確保し、妊産婦の多様なニーズに応えるには、医師との協働のもと、積極的な助産師活用を推進することが期待される。また、医師の働き方改革の実現に向けた、タスクシフティング・シェアリングの推進にもつながり、産科医師の負担軽減も期待される。

その期待に応えるため、本県で取り組んだ事業の効果を踏まえ、本県の周産期医療における働き方改革に向けた助産師活用の推進について検討する。

2 実施主体 兵庫県

3 日 時 令和2年2月29日（土） 13:30～16:30

4 場 所 兵庫県看護協会 ハーモニーホール
(神戸市中央区下山手通5-6-24)

5 対 象

病院・診療所の医師、助産師、看護管理者、事務職員、看護教育関係者、行政関係者等

6 内 容

I 基調講演 (13:35～14:35) 座長：兵庫県医師会 理事 大門 美智子

「働き方改革によるチーム医療の推進－医師と助産師の協働－」

講師：日本医科大学多摩永山病院 院長 中井 章人

II パネルディスカッション 座長：兵庫県看護協会 会長 成田 康子

1) 助産師活用推進事業報告 (14:45～15:45)

○本県の周産期医療体制の現状 兵庫県健康福祉部健康局長 味木 和喜子

○病院間長期出向モデル 神戸大学医学部附属病院 助産師 中野 優美香
副病院長兼看護部長 藤原 由佳
県立淡路医療センター 看護部参事 納 栄子

○病院・診療所出向モデル 姫路赤十字病院 助産師 音村 有美
看護副部長 太田 加代
益子産婦人科医院 院長 益子 和久

2) パネルディスカッション (15:55～16:30)

周産期医療における働き方改革とタスクシェアリング －令和元年度兵庫県助産師活用推進事業報告会－



産科医不足により分娩施設が減少する中、地域で安全・安心・快適なお産の場を確保し、妊産婦の多様なニーズに応えるには、医師との協働のもと、積極的な助産師活用や医師の働き方改革の実現に向けたタスクシフティング・シェアリングの推進が求められています。

本県においては、平成28年度から「助産師出向モデル事業」^{*1}を実施し、分娩介助件数の増加だけでなく、搬送体制強化や業務改善などの成果を得ることができました。また、今年度は診療所への出向も実施しました。

この度、本事業の効果を踏まえ、本県の周産期医療における働き方改革にむけた助産師活用の推進に寄与するため、本報告会を開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時	令和2年2月29日（土） 13:30～16:30		
場所	公益社団法人兵庫県看護協会 ハーモニーホール (神戸市中央区下山手通5-6-24 TEL:078-341-0190)		
内容	I 基調講演（13:35～14:35） 座長：兵庫県医師会 理事 大門 美智子 「働き方改革によるチーム医療の推進－医師と助産師の協働－」 講師：日本医科大学多摩永山病院 院長 中井 章人 II パネルディスカッション 1)助産師活用推進事業報告（14:45～15:45） ○本県の周産期医療体制の現状 兵庫県健康福祉部健康局長 味木 和喜子 ○病院間長期出向モデル 神戸大学医学部附属病院 助産師 中野 優美香 副病院長兼看護部長 藤原 由佳 県立淡路医療センター 看護部参事 納 栄子 ○病院・診療所出向モデル 姫路赤十字病院 助産師 音村 有美 看護副部長 太田 加代 益子産婦人科医院 院長 益子 和久 2)パネルディスカッション（15:55～16:30）		
対象	病院・診療所の医師、助産師、看護管理者、事務職員、看護教育関係者、行政関係者等 約150名程度		
申込み	裏面の参加申込書にご記入の上、FAXにてお申し込みください。		

<助産師出向とは>

※1 助産師出向とは、病院に就業する助産師の正常分娩の介助経験の減少、診療所の助産師不足という課題に対して、「助産師の就業場所偏在是正」「助産実践能力強化」等を目的に行うものです。



【問い合わせ・申込み先】

兵庫県健康福祉部健康局医務課
医療人材確保班（看護指導担当） 村上・井上
TEL: 078-341-7711（内線3254）
FAX: 078-362-4267